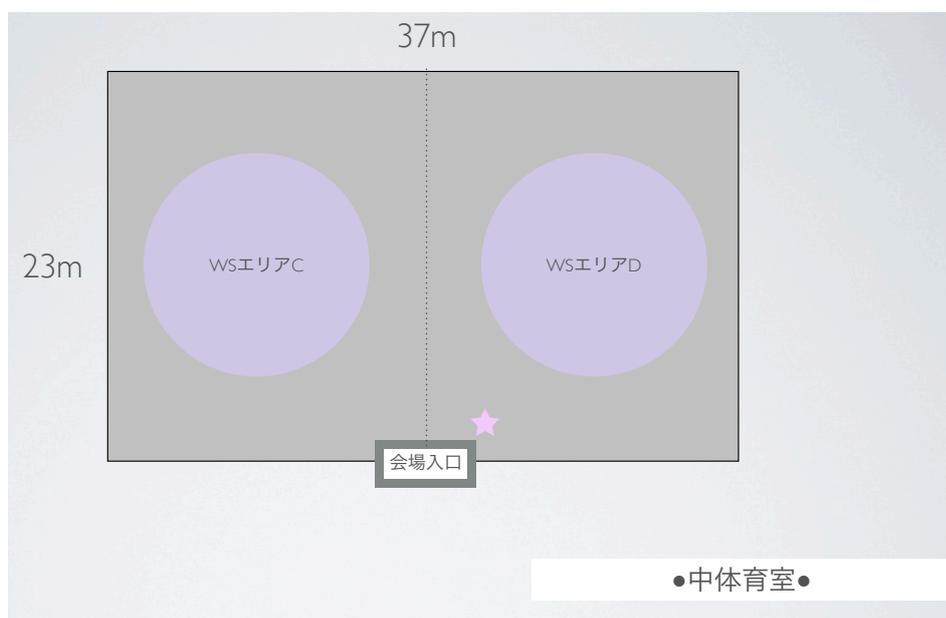
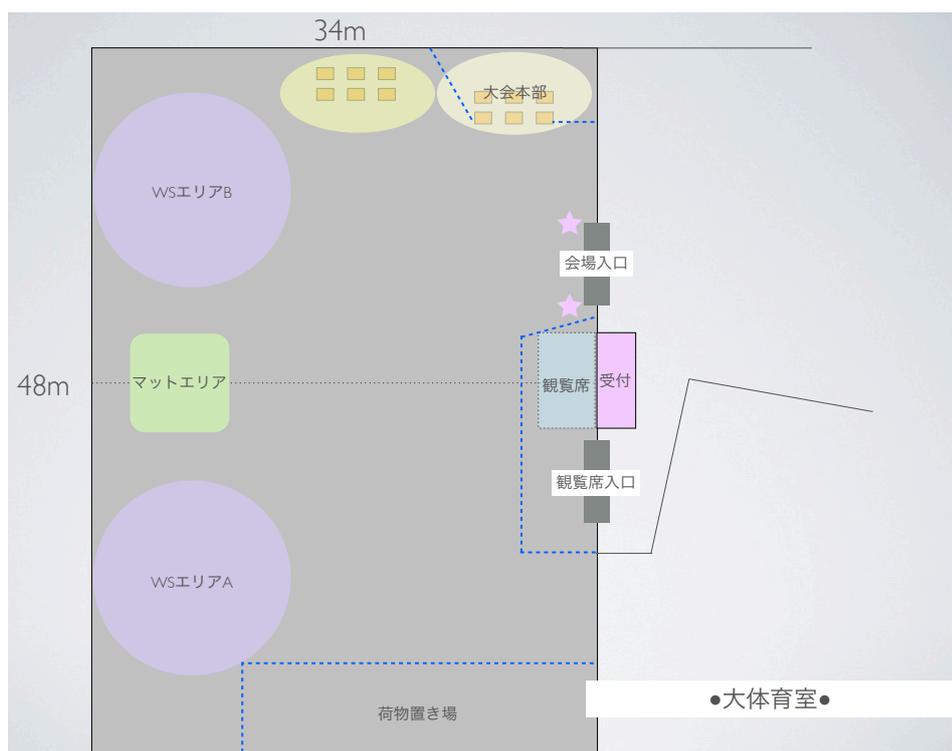


【スポーツ棟内のレイアウト（予定）】



参加条件

施設利用の規則上、2011年8月31日までに事前申込をされている方のみご参加いただけます。当日券の販売は行いません。

参加規約

- ・ジャグリングはある程度危険を伴うスポーツであることを認識し、自分自身及び他参加者が負傷することがないように注意をお願いします。
- ・JJF2011の期間中に、参加者に怪我、事故又は盗難などによって損害が生じたとしても、日本ジャグリング協会は一切責任を負いません。
- ・参加者の故意・過失により、会場、他の参加者その他の第三者に損害が生じた場合には、参加者はその損害の全部を賠償する責任を負います。
- ・JJF2011の会場内で、物品販売その他一切の営利的行為をすることはできません。
- ・JJF2011期間中に、ジャグリング協会によって撮影・取材等により作成された著作物の著作権は、全てジャグリング協会に帰属します。ジャグリング協会はそれらを編集し、ビデオ、出版物、ホームページ、映像配信等に利用しうるものとし、参加者はジャグリング協会の作成する著作物に対して、著作者人格権、肖像権、その他一切の権利を行使しないものとし、顔や演技の一部の映像および写真等が編集されて、ジャグリング協会作成のビデオ・出版物等に無償で使用されることに同意していただきます。
- ・会場内での写真、ビデオの個人撮影については、誓約書の撮影規則に従ってください。
- ・参加規約および撮影規則等に関する誓約書に同意のサインをいただきます。
- ・参加者は、JJF会場内では常に参加証を携帯し、体育室入場時には必ず参加証を提示しなくてはなりません。これに応じない場合、JJF2011実行委員会は、当該参加者に対して退場その他の必要な措置をとることができます。

スケジュール

最新のスケジュールをJJF2011のホームページに掲載していますので、そちらをご確認ください。
(<http://www.juggling.jp/jjf/jjf2011/jp/schedule.html>) 会場内にも掲示する予定です。

当日の受付について

参加者の方は、下記を持参のうえJJF参加当日に大体育室前の受付にお越しください。

- ・誓約書（参加者1人につき1枚） ※本開催要項の最後の項に添付しています
- ・参加証（郵送で受け取った方）
- ・年齢のわかる身分証明書（18歳以下の方）
- ・パスポートなど身分を証明する書類（海外から参加の方）
- ◆その他、受付担当からメールで連絡があった場合はその指示に従ってください。

【受付対応時間】

10月8日(土) 9:30～15:30

10月9日(日) 9:00～17:30

10月10日(月・祝) 9:00～17:30

宿泊について

オリンピックセンターA棟への宿泊を申し込まれた方は、JJF2011ホームページ掲載の【JJF2011 宿泊マニュアル (<http://www.juggling.jp/jjf/jjf2011/jp/stayingmanual.pdf>)】に必ず目を通してください。

- ※チェックイン時間、チェックアウト時間を厳守してください。
- ※今回ご利用いただく宿泊棟は、全てセルフサービスになります。ご協力をお願いします。

JJF開催期間中の緊急連絡先（宿泊担当者直通）：080-4292-1406

注意事項とお願い

参加証の携行

JJF2011の参加証は、体育館に入出する際やCSを観覧する際に必要です。必ず見える位置に身に付けてください。体育館入出の際にはバッチコントロール担当のスタッフが、チャンピオンシップの際は入場係受付のスタッフが参加証を確認いたします。

会場準備

JJF2011は、参加者全員で作り上げるフェスティバルです。初日10/8(土)朝に会場内の準備、設営を行ないます。都合の付く方はスポーツ棟大体育室に8:30にお集まりください。また、10/10(月・祝)の閉会式の後、会場の後片付けを全員で行ないますので、時間の許す限りご協力をお願いします。

体育室外でのジャグリング禁止

大／中体育室外のオリンピックセンター敷地内ではジャグリングを禁止とします。施設との約束事項ですので、必ず守って下さい。

道具の紛失を避けるために

当日は、非常にたくさんのジャグリング道具が会場に集まります。紛失などを避けるため、自分のジャグリング道具や荷物には記名の上、必要であれば目印も付けてください。また、持ち込んだ道具類をリストにまとめておくこと忘れの心配がありません。

体育館保護

床面の保護については特に気をつけてください。当日は体育室の一部にシートおよびマットを敷きます。床面を傷つける恐れのある道具（クラブ、デビルスティックなど）は必ずシートの上で、また角張った道具（シェイカーカップ、シガーボックスなど）はマットの上で使うようにしてください。極度に重い道具、一輪車、ナイフ、火を使う道具などは禁止です（一輪車は発表には使えますが、練習はできません）。また、クラブやデビルスティックの末端のネジが露出した部分をビニルテープで覆うなど、床面保護にご協力をお願いします。壁などに物をぶつけるジャグリングもご遠慮ください。

体育館シューズの使用

体育室内は土足禁止です。体育館用のシューズをご持参ください。

会場内での飲食

スポーツ棟（大体育室・中体育室）、カルチャー棟（大ホール）、センター棟について自動販売機のあるフロアなど一部の場所で水分を取ることは可能ですが、基本的に会場内ほぼ全てのフロアで飲食禁止です。ただし、体育室内では水分補給の目的で水分を取ることが許可されています。各自の責任で床を汚さぬよう管理してください。

宿泊棟について

宿泊室内では飲食が禁止されています。談話コーナーという飲食可能なスペースが各フロアに用意されていますのでそちらをご利用ください。

ごみの持ち帰り

会場内にはごみ箱はありません。ごみは各自で持ち帰るようにご協力をお願いします。

喫煙

喫煙は、許可された所定の場所でのみ行ってください。法律により未成年者の喫煙は禁止されています。

震災時の対応

JJF開催期間中に震災が発生した場合は、オリンピックセンターの指示に従うことになります。その場の安全を確認し、館内放送の指示を待って下さい。参加者の点呼を実施する可能性もあります。

体調管理

ジャグリングを行う前には、ウォーミングアップ、柔軟体操を充分に行ってください。着替えやタオル、水分補給の用意をお願いします。また、夜は睡眠時間を充分にお取りください。万が一の診療期間受診に備え、健康保険証を持参されることをおすすめします。会場内で体調不良となった、または、体調不良の方を見かけた場合は、大会本部までご連絡ください。または、近くの実行委員に声をかけてください。

※JJF期間の緊急連絡先：080-4291-8592（実行委員直通）

時間厳守

円滑な進行のため、ワークショップやイベントの集合時間を守ってください。

誓約書

HPに掲載する「誓約書」を必ず読んで下さい。（この要項の最後にも添付しています）
その上で誓約書に御署名いただき、当日御持参ください。受付で回収いたします。

年齢証明

18歳以下の料金で参加される方は、年齢を証明できるものを御持参ください。

その他

不明点がありましたら、info-jjf2011@juggling.jpまでメールでご連絡ください。

JJF期間の緊急連絡先：080-4291-8592（実行委員直通）

イベント

JJF2011チャンピオンシップ決勝

日時

2011年10月8日（土） 開場 15:30 開演 16:00

場所

カルチャー棟 大ホール

コンセプト

日本一のジャグリングパフォーマンスを選定することを通して、世界に通用するパフォーマンスの育成に寄与し、日本におけるジャグリングの発展を総合的に促進する。

主旨・概要

- ・定められた時間の中でジャグリングを主体とした演技を行い、その技術力・希少性・パフォーマンス性などを審査する。
- ・純粋なジャグリングの競技会としては日本屈指のものであり、JJFのメインイベントの一つである。
- ・JJF期間中には決勝を行い、1位～3位及び審査委員特別賞の入賞者を選び、表彰を行う。

観覧いただける方

- ・JJF参加者全員（全日／1日のみ問わず）
 - ◆JJF参加者は入場時、参加証の確認を行いますので、忘れずに参加証を持参してください。
- ・事前に観覧申し込みを行い、実行委員担当者より観覧の案内が届いた方

撮影について

チャンピオンシップ公演中の撮影は可能です。カメラ撮影の場合、演技に支障をきたす可能性がありますので、フラッシュの使用は禁止いたします。また、緊急時に通路を確保する必要がありますので、三脚を使用するの撮影は禁止いたします。撮影の際は、他のお客様の観覧の妨げにならないよう、ご配慮下さい。

お願い

- ・当日のご来場状況にもよりますが、大ホールの会場が満席になる可能性があります。混乱を防ぐために、必ず実行委員の指示に従ってください。
- ・チャンピオンシップ会場に荷物置き場を設けますが、当日は混雑が予想されます。参加者の皆さんは、大きな荷物をなるべく大体育室に置くなどご協力をお願いします。（体育室はチャンピオンシップ中は施錠しますが、貴重品は各自で管理して下さい）

ゲストステージ

日時

2011年10月9日（日） 開場 17:30 開演 18:00

場所

カルチャー棟 大ホール

観覧いただける方

ゲストステージチケット購入者（チケットは販売終了しております）

国内ゲスト

天平

デビルスティックやクラブ、ディアボロなど幅広い道具を扱うマルチジャグラー。EJCやBJCなど海外での出演も多く、Jay Gilligan主催のShoebbox Tour 2008に参加した経歴も持つ。2011年1月にはフランスで開催されたサーカスの世界大会「Cirque de demain 2011」に日本人として初めて出場し、審査員特別賞を含む3つの賞を受賞。世界が認めた「Tempei」の演技に乞う御期待！！ <http://tempei.net/>

CONRO

中学のころよりジャグリングを始め、IJA2007で決勝大会進出をきっかけにプロジャグラーの道を目指す。IJA2010では、「フロップコンペティション デビルスティック部門 優勝」「チャンピオンシップ個人部門 シルバーメダル」「People's Choice Award（観客人気投票 第一位）」を受賞。最近バラエティ番組への出演も多く、テレビで彼の演技を見たことのある人もいないだろうか。高速で繰り出されるデビルスティックの技の数々は必見である。

<http://devilstick.jp/>

海外ゲスト

AJ Silver

日本ではあまり馴染みのない「トリックロープ」。西部劇に登場するカウボーイを思い浮かべて古典芸だと決め付けるのは、まだ早い。AJ Silverは数少ないトリックローパーの中でも、筆頭にあがるパフォーマーである。世界各国のサーカスに出演した経歴を持ち、モスクワで開催されたWorld Circus Festivalでは観客人気投票で一位を受賞。Cirque du Soleil製作のテレビ番組「Solstrom（ソルストロム）」にも出演しており、その実力は世界に認められている。未だかつて見たことのないカウボーイの妙技をお見逃しなく！ <http://www.trickropingact.com/>

Sean Blue & Zho Zho Blue

IJA2007で「Award of Innovation」を受賞。フィンランド、スウェーデン、カナダのサーカス学校では講師を務めた経験もあるSean Blue。スピニングボールが有名だが、ナンバースからマニピュレーションにいたるまで彼のテクニック・アイデアは随所に見られ、拠点ニューヨークには熱狂的なファンも多い。近年、ピアニストのZho Zho Blueと組み、独特の雰囲気のパフォーマンスを作り上げた。二人が作り出す世界を、目から、耳から、是非ご堪能いただきたい。

<http://www.seanblue.net/> <http://zhozhoblue.com/>

撮影について

ゲストステージ公演中の撮影は禁止いたします。

フリーパフォーマンス

日時

2011年10月10日（月・祝） 14:00～16:00

場所

スポーツ棟／大体育室

練習場の一区画と床保護用のマットの一部をお借りすることになります。ご協力をお願いします。

対象者

日本ジャグリング協会の協会員である必要はありません。

フリーパフォーマンス参加規約を守っていただければJJF2011参加者全員に参加資格があります。人前で何かパフォーマンスをやってみたいという方、一発芸をしてみたい方、新しい技を披露してみたい方、みんなを驚かせたいという方等、だれでも参加可能です。

演技内容

ジャグリングでなくてもかまいません。なんでもOKですがパフォーマンスについては常識の範囲内で行ってください。

フリーパフォーマンス参加規約

- ・事前の参加申し込みは必要ありません。参加希望者は10日の11時から受付を開始するので大体育室の当日指定する場所に集合してください。音響を使用する方は音源を持ってきて下さい。
- ・エントリーの受付は12時20分までとしますが、エントリー多数の場合は一定数に達した時点（目安：20組前後）で受付終了とします。ご注意ください。この時間帯にエントリーする時間が取れない場合、代理の方に集合してもらい、エントリーすることも可能です。

ルール・注意事項

- ・個人でも、チームでも参加可能です。
- ・チャンピオンシップに参加する方も、フリーパフォーマンスに参加することができます。
- ・予選、順位は設けません。
- ・時間は一人（一組）あたり4分以内とします。（これは準備、片付けの時間は含みません。）
※制限時間は厳守してください。また、準備・片付けは速やかにお願いします。
時間が限られていますので、ご協力をお願いします。
- ・照明などのステージ的效果は使えません。
- ・床を傷つける恐れのあるもの（ファイアトーチ、ジャグリングナイフ）の使用は禁止します。
- ・多くの観客を前にして見せるにふさわしくないこと、公序良俗に反することは禁止します。
- ・観客を使ったパフォーマンスもしてかまいませんが怪我等には気をつけてください。もし怪我をさせてしまった場合、JJF2011実行委員会では責任を一切負いません。

使用音源

- ・CDのみ可とします。
- ・使用される音楽は一枚のCDにまとめ、再生ボタンを押すだけでよい状態にしておいて下さい。
- ・複雑な音響操作はこちらでは対応できませんので、ご自分で操作していただくか、知り合いの方に操作をお願いしておいてください。

ワークショップ

概要

ワークショップとは、JJFの参加者ならば誰でも受講できる、ジャグリングの講習会です。ボール、クラブなどよく目にするジャグリング道具から、フットバックや傘といった普段教わる機会の少ないものまで、様々な講座が開講されます。ワークショップの講師は、日本屈指の、経験豊富なジャグラーが務めます。はじめての人を対象とした入門講座から、ハイレベルな技の練習方法を学ぶことができる講座、さらにはショーで役立つような事柄を教わることができる講座など、幅広い講座を用意しています。さらに、ワークショップは何個受講しても、別料金がかかるという事はありません。たくさんのワークショップを受講して技術を向上させましょう。

JJFのメインイベントの一つとも言えるワークショップをどうぞ有意義にお使いください。また、予定表には無い、「飛び入り」のワークショップもあるかもしれません。詳細は、現地にてご確認ください。

内容

各ワークショップは独立を原則としていますので、興味を持ったワークショップのみを受講することができます。連結したワークショップについては、ワークショップの一覧をご参照ください。内容としては、説明と練習を交ぜたものがほとんどです。JJF後にも忘れないために、ノートなどを持参しメモをとるのもいいかもしれません。

講師

ワークショップの講師は、JJF参加者の中から経験豊富な方を講師として選び、実行委員会がボランティアでお願いしています。また、「自分も講師をしてみたい!」という方は、是非JJF2011ワークショップ担当(workshop2011@juggling.jp)までご連絡ください。当日も参加も受けつけております。

道具

ワークショップで使用する道具は、できるだけ各自で用意してください。また、入門・初級クラスのワークショップをする時は、できるだけ貸出をしたいので、会場の参加者からお借りすると思います。道具をお持ちの方は、貸出にご協力をお願いします。また紛失を避けるため、道具には自分の道具だとわかる目印を必ずつけておいてください。

受講上の諸注意

- ・ワークショップによって、対象とするレベルが異なります。各自の技量と、ワークショップの一覧の文章を照らし合わせたうえで、参加するワークショップを選んでください。全ての個人に対応することはできませんので、簡単すぎる、難しすぎるという場合もありますが、あらかじめご了承ください。
- ・ワークショップ中は安全のために、講師並びにアシスタントの指示をよく聞き、必ず守ってください。
- ・ワークショップの進行を妨げる等、他の参加者に迷惑をかける行為はご遠慮ください。
- ・ワークショップの可能人数を超えた場合、指示にしたがっていただけない場合、また、安全、進行上の都合により、ワークショップの開始前後にかかわらず、講師の判断で受講をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

ワークショップ一覧、開催場所

ワークショップ一覧、開催場所、スケジュールの最新版はJJF2011のホームページをご確認ください。 (<http://www.juggling.jp/jjf/jjf2011/jp/workshop.html>) 当日会場にも掲示する予定です。

ゲーム

日時

10月9日（日） 15:00～

場所

スポーツ棟／大体育室

内容

DSG

概要

DSGとは、だれでも 参加できる ゲーム の略です。

「ジャグリング初心者でも上級者でも同じように楽しめる！」

そんなコンセプトのもと、DSGは生まれました。

カスケードができなくてもできるゲームばかりです。

気楽な気持ちで遊びにきてください。

詳しいゲーム内容、そしてどのゲームをやるかは、当日までのおたのしみ！

用意するもの

持ち寄った道具を使ってゲームを行いますので、何かしらの道具を持ってきてください。

種目

くじ引き道具キャッチ『ザ・キャッチ』

ジャグリング道具長さ合わせ『パーフェクトメジャー』

対戦型道具積み上げ『バベル』

体内時計道具積み上げ『チキンタワー』

その他いろいろ！

エンデュランス公式記録会

日時

2011年10月9日（日）12:00～13:00（競技が長く続いた場合、延長する場合もある）

場所

スポーツ棟／大体育室 ※詳しい場所は当日アナウンスを行う。

種目

以下の種目を実施する。

- 5ボール カスケード
- 5ボール シャワー
- 6ボール ファウンテン
- 7ボール カスケード
- 5リング カスケード
- 6リング ファウンテン
- 5クラブ カスケード
- 7ボールバウンス
- 3ディアボロ ハイトス
- デビルスティック デュアルプロペラ
- シガーボックス レインボーループ

※各種目5名以上の参加希望者がいない場合は実施しない。

※これ以外の種目に関しても、参加希望者が10名以上集まる場合は実施を検討する。

※本記録会の記録は協会公認の公式記録になる。

※5秒前からカウントを始めるので自分のタイミングで開始すること。

ただしカウントが0になった時点から計測を始める。

※終了後、上位3名までの結果をJJF公式WEBサイト等で発表する。

誓約書

私は、日本ジャグリング協会(以下、協会)主催のジャパンジャグリングフェスティバル 2011(以下、JJF)に参加するにあたり、法律と一般常識を守り、他の参加者・付添者・見学者等(以下、他参加者)、協会、会場等に迷惑をかけないことをここに誓います。私は自分の故意あるいは過失によって、他参加者、協会、会場等に、負傷・器物破損等の損害を与えた場合、誠意をもって補償します。私は JJF の会場内で物品販売その他一切の営利的行為をしません。

私はジャグリングがある程度の危険を伴うスポーツであることを認識しており、自分自身及び他参加者が負傷することがないようにするべき注意をはらいます。また自分自身の故意あるいは過失によって自らが負傷した場合には、協会や会場の責任を問いません。他参加者の行為が原因で、私に負傷・器物破損等の損害が生じた場合には、当事者間で話し合いを行い、協会や会場の責任を問いません。

私は、協会より作成される DVD、ビデオ、写真、会報、ホームページ、映像配信サイト等(以下、DVD 等)に自分の肖像、姓名が掲載・配信されることを認めます。また、JJF における私の練習、ステージでの演技、各種イベントでの活動、ワークショップでの活動等(以下、私の練習等)の一部あるいは全てが協会によって記録され、DVD 等に掲載・配信されることを認めます。DVD 等に掲載される際に、私の練習等に対する編集、音楽の吹き替えあるいは無音化を認めます。私の肖像または私の練習等が DVD 等に掲載された場合でも協会に対価を求めません。

私は、私が使用する音楽、映像、パフォーマンス内容について著作権等を尊重し、必要な楽曲使用などの手続き等については自分で責任を負います。私と協会の間で JJF に関係して裁判上の紛争が生じた場合は、東京地方裁判所または東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意します。

私が、小学校入学前の乳児、幼児等自らこの誓約書に署名できない参加者を同伴する場合、保護者として代理してこの誓約書に署名します。

私は、他者の肖像権、著作権を尊重し、以下に定められた撮影規則を遵守します。

撮影規則

1. 個人によるゲストステージの、映像録画、写真撮影、録音、配信を禁止する。
2. 体育館内で行われる各種イベント、ワークショップおよび自由練習の録画、写真撮影を禁止とはしない。但し撮影時等には、撮影対象の個人あるいはワークショップ講師等の許可をあらかじめ得ること。
3. 個人で録画・撮影した映像、写真、音声等(以下映像等)の利用は、個人利用のみとする。
4. 映像等を、ホームページ、映像配信サイト、各種放送媒体、出版物等で、他者への開示を行う場合は、常識に照らし合わせて被撮影者の了解を得ると共に、音楽が含まれる場合は必要な権利処理を行なうか、音楽の削除など適切な処置を行なうこと。
5. 映像等をもとに利益を得てはならない。生テープの価格を超える価格をつけて有償販売したり、商業ビデオなどの有価物と物々交換したり、販売促進用の景品として配布することを禁止する。

参加者1名につき1枚御署名の上、当日受付へ本紙を提出してください。(乳児・幼児等の参加者も各1枚必要です。)

署名者住所: _____

本人(又は保護者)署名: _____

(保護者署名の場合は「参加者氏名 代理人 保護者氏名」と署名します。)

署名年月日: _____